

【街頭活動より】

宇和島でも震度5弱

能登を活かす・417を活かす

伊達博よりも防災を

皆様には、大きな被害など有りませんでしたでしょうか。

◇予知できない地震ですが、正月の能登での地震に続いて宇和島でも震度5強を経験しました。

◇この経験を私達は活かさなければなりません。

◇宇和島では、お怪我された方はいらっしゃいませんでしたが大きな怪我では無かったです。建物被害は次への備えを強く意識する教訓として活かすことが必要かと思えます。

◇公共施設の被害は、南予文化会館のホールと総合体育館のアリーナでは、天井部分の崩落が発生しました。発生が午後11時過ぎということに施設利用者のいない時間帯で本当に良かったと思えます。

◇公共施設の耐震化はかなり進んでおりますが、そもそも天井の耐震設計ができておらず、その後の耐震化工事の際も充分に意識が回っていません。このことによりお思います。東日本大震災の際に、各地で天井落下の被害が発生して東京都内でも死者が出ました。それを受けて、国は新たな安全基準を設置して天井落下防止対策を進めましたが、今回の2施設はどうだったのでしょうか。

◇中止になってしまった大学相撲の開催時間帯に発生していたらどうだったか、学校CM大賞の開催時に発生していたらどうだったか、そういうイメージを強く持つて、施設の総点検を進めなければなりません。

◇54億では建てられない、そして開館後は毎年1億6千万円を越える収支差額で伊達博物館の建て替えに執着するよりその前にいくらでもやるべきことがあると思いませんか。

◇この3月議会で承認された、市営住宅の更新を中止し耐震化でできない市営住宅から民間の賃貸住宅への住み替えを家賃補助することで進める事業を以前紹介しましたが、宇和島でも住宅の耐震診断、耐震設計、耐震工事についての補助制度があります。この機会に住宅の耐震性に改めて目を向けて頂きたいと思えます。

◇この制度は、賃貸住宅についても適用可能とのこと、不動産オーナーの方には、居住される方の調整の上、制度利用をお願いしたいと思えます。市の補助を使って耐震化を進めることにより、不動産の価値を上げられるのだから前向きに検討して頂きたいものです。スピードを上げるためには、不動産屋さんからも所有者の方に奨めていただきたいのです。なぜか、事業者所有の不動産が対象外と言つて、市民の生命財産を守る投資なのですから、その点にこだわることには無いと思えますが、どうなのでしょう。

◇能登の地震、今回の宇和島での地震、そこから何を学び政策にどう活かすのか。予算の使い方をどう変えていくのか。

◇1酸化炭素(CO)検知器の設置補助も投げかけております。熱感知式よりも煙感知式よりも、ずっと早く(何十分単位で)火災を検知できます。火災による焼死事故を減らすことが明らかになっております。特に高齢者の逃げ遅れ事故を防ぐために役立つと思うのです。高齢者福祉の施策でも、宇和島の住宅品質を上げる施策でも、危機管理の施策でも、なんでも良いので事業化を求めています。1台8千円ほどで付けられるのです。伊達博の赤字1年分で1万台無料で配付できます。半額補助なら、2万台設置できます。機器の更新が10年に一度ですから安い物だと言つことになりません。補助要件を地元事業者からの購入ということにすれば、販売手数料も宇和島に落ちることになります。

伊達博物館入札不調

これ以上予算増額するのか 市民は納得しているのか

昨年11月建築工事の入札で参加者が無く不調となり、この度、再度の入札の開札があったのですが、予想通り入札者が無く今回も不調ということになりました。1回目は、建築・電気・機械の分割発注で、建築についての応札が無かったために電気機械については入札を取りやめたのですが、予算総額を4億円上げ資格要件を一部過去15年の施工実績緩和し、簡易型総合評価方式の一括発注に変更しました。1回目の公告から2回目への電気・機械部分の増額の説明が無かったため、増額が十分でなく、参加者がいないのでは無いかと思っていました。案の定というか幸いというか、応札が無かったようです。

◇入札参加の資格要件をさらに緩和して、参加者が出てくるのか。予算を増額して再度入札を行うのか。設計変更して予算を増額しないで建てられるものに変えるのか。このことになりました。市長サイドから今回の入札不調の原因を考察した報告も在りません(4/30現在)ので判りませんが、原因があつて結果です。予算が膨らむことについては、大阪関西万博の施設整備費の高騰、「1.5倍から2倍」という懸念を以前から伝えてきました。充分に想定をしなければならぬ増額について認識が甘かったとしかいえません。

◇費用面で、小さく産んで大きく育てるのが、公共工事の常であります。これ以上の増額見通しを発注前に明らかにすると、市民の理解を得ることが更に困難になるという心配があつたのでしょうか。反対の声が更に大きくなるという心配があつたのでしょうか。もちろん、今回の入札不調で、伊達博建て替へを断念するとしても説明が必要ですが、今まで使つた5億円弱のお金が無駄になるという批判に絶えられず止められないというのでしょうか。

◇「だから言ったじゃない」住民投票を行つていれば、あるいは、予算の上限を示して、「いくらまでなら事業を進めさせてもらう」という丁寧な説明をしていれば、苦労しなかつたはずなのです。わたくしは、物価が高騰して、40億が50億へと増額が見えてきたところで再考の姿勢を示して、うまくフェードアウトすれば良かったのと思つていますが、実は、この箱物にこだわる行政の在り方自体が問題だと思つております。津島の入浴施設もそうです。20億ほど建て替へる予定で準備が始まつたのですが、いまや33億ほどに膨れ上がつております。伊達博物館の影で目立ちませんでしたが、こちらも入札への参加者がいないかもしれせん。こちらも増額ということになるのでしょうか。それは、温泉施設も伊達博もあるに越したことはありません。しかし、できた後も収支差額や赤字を市民の税金で埋め続けなければならないとしたらどうでしょう。宇和島にそんな余裕はあるのでしょうか。

◇先週、津島である方とお話ししたのですが、行政はイベントにタッチしないで欲しいということ仰つてました。民間でやる場合、効果の上からない事業は、見直しされますし、中止や休止もありです。しかし、行政がヤルと、予算を取つたら最後、効果は作文でなんとかして、B/Cの低いことでも継続して続けることになってしまうのです。当然のことですが、行政がやることで事業は効果を生むことが必要で、効果の上がる事業に資金ソフトして行くことが住みよいまち作りにつながると思つております。効果が上がらなくても、報告書の作文で続けられる行政と効果が上がらないと退場を余儀なくされる一般の世界では全く意識が違うのだと思つております。

◇収支差額が出るいわゆる赤字の施設は在つてはならないと言つているではありません。費用に見合った効果が上がらないものは、優先させるべきで無いという考えなのです。

◇昨日、#鬼ヶ城パークストレーン という大会が開催されましたが、300人を越える参加者が集まりました。その方々は、前の日からタツパリとお金を使いエネルギー補充をします。6時スタートですから前泊もあり、みんなお金を払つて(参加費5千円〜1万3千円)参加してくれるのです。

◇来月には、岩松川河川敷から御内・上横を越え須ノ川までの50kmレースもあります。こちらも参加料1万円払う参加者が今年200人定員が越えてしまいました。こういった大会は、選手を集め選手が満足して帰つてくれなければリビートがないという冷徹な結果を毎年毎年突きつけられます。民間の一般のイベント・事業を計画する人間は、そういう厳しい経験をしています。行政がいくら始めるとそれは既得権となりことは有り難いのですが、それを当てるし始めることは既得権となり事業のブラッシュアップよりも既得権を守ることが大切になつてしまつて、建てたままの箱物は、撤退することは許されず、赤字を垂れ流し続け、他人の支出を我慢し続けることになりす。新規事業の選択の幅を狭めるのが、箱物行政で在り、既得権を守り続けることなのです。今こそ見直しを。

(24年4月15日の街頭活動より)



余震に備える城北2部

武田元介ニュースレター Vol.39

黎明 REI MEI

【プロフィール】

昭和36年1月生まれ 愛媛県宇和島市出身
愛媛県立宇和島高等学校卒
岡山大学資源管理学研究室卒(学士)
昭和58年(株)ト吉 営業本部/東京支店
宇和島漬物食品(株)勤務(現職)
1994年 (社)宇和島青年会議所 理事長
2000年 (社)日本青年会議所 愛媛ブロック会長
2001年 宇和島市補助金等検討委員会 委員長
2003年 宇和島市女性問題研究委員会 副委員長
2004-5年度 宇和島ロータリークラブ幹事
2013年 宇和島市議会議員
2015年 愛媛平成市議の会 事務局長
市議会産業建設委員会 副委員長
愛媛平成市議の会 監事
市議会教育環境委員会 副委員長
市議会厚生委員会 委員長
2017-19年 市議会副議長
2019-21年 市議会副議長
2021-23年 市議会厚生委員会 委員長
現職 宇和島トリアスロン協会 会長
現職 愛媛県トリアスロン協会 副会長
現職 NPO法人 移植への理解を求めの会 理事
現職 宇和島法人会 監事
現職 宇和島市観光物産協会 理事

【趣味】マラソン・トリアスロン・家事・育児・読書



新年賀詞交歓会



伊達博増額予算に反対の討論



えんま様



愛媛県クラブ対抗駅伝



宇和島学校自慢CM大賞



宇和島東高定時制卒業式



産業祭りマグロ解体ショー



鶴島小卒業式

皆さんの声を聞かせてください
メール motosuke.takeda@gmail.com
FAX 0895-24-5610

皆様で自主開催されるミニ集會や座談會に是非参加させていただけたらと思ひます。[ママ友が集まる会・ご近所やスポーツ仲間が集まる会]など、どんな会でもかまいません。是非伺わせていただひてお話し聞かせ下さい。

あなたも「武田元介ニュースレター 黎明」の読者登録しませんか?~他人事でなく自分事~

読者登録していただきますと、「武田元介ニュースレター 黎明」を毎号(年4回の予定)お届けいたします。是非、下記までお申し込みください。

メール motosuke.takeda@gmail.com
FAX 0895-24-5610

